

英語科 学習指導案

1 学年 1 組 (男子 14 名、女子 15 名)

1. 単元 (教材) 名 Program 7 Research on Australia

2. 本時の学習

(1) 本時のねらい

これまでに学習した内容や得た情報を整理し、簡単な語句や文を用いて日本の良さをオーストラリアの生徒に紹介することができる。

(2) 準備

教科書、英語ファイル、一人一台端末、モニター

(3) 展開

主な学習活動 (○) と生徒の意識 (☆)	時間	指導上の留意点及び支援
<p>1 あいさつ、帯活動をする。</p> <p>○オーストラリアに関する写真を見て、ペアで英語で説明し合う。</p> <p>☆program 7 で学習してきたオーストラリアはどのような国だっただろう。</p> <p>写真1カンガルー 写真2グレートバリアリーフ</p>	8	<ul style="list-style-type: none"> ・ Warm up を通して、本時の活動に対する意識付けを行うとともに、文化紹介の際に使えるような表現をいくつか確認する。 ・ まとまった文で説明できるように ALT と協力して支援する。
<p>2 本時のめあてをつかむ。</p> <p>Some Numata Junior high school students go to Australia every summer. These are the pictures of that.(国際交流の写真を掲示) You can introduce Japanese food, places, and sports to the students in Australia through this letter! So, let's introduce your favorite Japanese culture to Australian students.</p> <p>○本プロジェクトのねらい(場面・目的)を再確認する。</p> <p>Today's goal の提示</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ 実際の国際交流時の写真を提示し、生徒の興味、関心をより一層かき立てていく。
<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>【本時のめあて】 文化の違いに着目しながら、日本の良さをオーストラリアの生徒に紹介しよう。</p> </div>		
<p>☆日本の良さについて、どんな風に伝えようかな。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ ねらいの提示だけでなく、日本の良さを伝えるためにはどのような工夫が必要かについても考えさせる。

<p>3 本時の活動に取り組む。</p> <p>○単元を通して作成してきたシンキングツールを活用して、グループで日本文化を紹介しあう。</p> <p>○何についてどのように紹介していたか聞き取り、メモをとる。</p> <p>☆より分かりやすく良さを伝えるにはこのような視点（意見や感想を付け加える）も大切なんだ。</p>	10	<ul style="list-style-type: none"> ・Speaking の活動を取り入れて、思考を整理させ、Writing の活動へつなげる。 ・次の2つの視点を意識して紹介できている生徒を取り上げ、全体で共有する。 ①日本文化についての紹介 ②それについての意見や感想
<p style="text-align: center;">〔話す活動〕 ↓ 〔書く活動〕</p> <p>○シンキングツールを活用して、日本文化紹介文を書く。紹介文を書く中で、自己のつまづきを認識する。</p> <p>☆こういう場合は英語でどのように表現するのだろう。</p>	15	<ul style="list-style-type: none"> ・ALT が生徒の表現で良いものを取り上げ、全体で共有する。その際に、よい表現についても賞賛する。 ・生徒の紹介文を撮って全体で共有し合う（ICT 活用）。
<p>○見えそうな表現を全体で共有・確認して再チャレンジする。</p> <p>☆友達の表現で、参考になったものを使ってみよう。</p>	12	<ul style="list-style-type: none"> ・活用できそうな表現があれば、自分の文章に付け足すよう助言する。
<p>4 本時のまとめ・振り返りをする。</p> <p>○振り返りカードに、今日の授業の振り返りを記入する。</p>	5	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りの視点をもたせ、自らの学びを自覚できるようにする。



【評価】 内容面：日本文化の良さについて、簡単な語句や文を用いて紹介することができた。

言語面：既習の表現を活用し、読み手の立場に立ち、分かりやすく伝えられるよう表現を工夫することができた。（思考・判断・表現：紹介カード）